

2023 年度 第 6 回 研究倫理委員会 議事録

(文中敬称略)

日時：令和 5 年 9 月 20 日 (水) 17 時 ～ 17 時 40 分

参加者：筒井秀代

＜経営学部＞ 北野達也、杉浦優子、日下部直美

＜リハビリテーション学部＞中谷直史、富山直輝

＜事務部＞ 小野木栄治、壽川浩子

欠席：林尊弘、越智 亮、室町律雄、藤田高史 (委任状あり)

◎第 5 回研究倫理委員会議事録が承認された。(資料 1)

### 審議事項

1) 通常審査：1 件 受付番号 2023A0010

「腰痛と尿漏れ予防を目的とした腹部引き込み運動の地域高齢者への応用 -予備的介入研究-」 (大学院健康支援学研究科修士課程 2 年：石橋心)

＜審議結果＞承認

迅速審査：2 件 受付番号 2023A0011

「外傷性脳損傷患者による高次脳機能障害に影響を及ぼす要因の探索」

(リハビリテーション学部教授：河村章史)

＜審議結果＞承認

受付番号 2023A0012

「大腿骨近位部骨折患者における下肢荷重の左右非対称性と筋電図活動量の改善に有効な起立動作に関する研究」

(大学院健康支援学研究科修士課程 2 年：野田篤志)

＜審議結果＞承認

2) 動物慰霊祭について (資料 2)

日時確定：12/6 (水) 12：30～13：00

同日3限目のリハ学部2年の授業はないことが報告された。なお、動物慰霊祭の実施方法の見直しについては継続審議とした。

### 3) 他機関からの研究倫理審査依頼について (資料3)

資料にもとづき説明がなされ承認された。今後、教授会・協議会等にも諮り、規程等を検討する予定。なお、外部機関からの審査を請け負うということは、本学研究倫理審査員の審査水準を保つことがより一層重要となるため、審査員の質的向上も求められる。とりわけ、情報・データの扱い管理などについて、よりの確な審査が求められると委員長から注意喚起があった。

### 4) 学生対象の研究倫理講習について

リハビリテーション学部：2023年11月13日(月)5時限目に実施

経営学部(丸の内キャンパス)：後期の第14週目 or 第15週目に実施

リハ学部では3年生の授業の一コマ、経営学部では2年生のゼミの一コマで講習を行う予定。本来、一コマのみでは十分とは言えないため、今後は両学部共、講習時間を増やす必要があるのではないかと意見が委員長から出されたが、経営学部の卒業研究で倫理審査が必要になるケースは非常に限られているため、学部一律に講習時間を増やす必要性があまりないとの意見が日下部委員よりあった。また、大学院の研究倫理講習についても、今後教務委員会と相談する旨が委員長より出された。

## 報告事項

1) 新規の許可証発行：2023C0005(早川佑治)

2) 研究倫理審査一覧の掲載：令和5年7月分まで掲載

3) 議事録の掲載：

大学ウェブサイトにて第3回、厚生労働省倫理審査委員会報告システムにて第4回まで掲載

4) リハビリテーション学部卒業研究倫理審査：

23OT13、23OT14、23OT15、23PT02、23PT10、23PT11、23PT12が新規に承認

5) 経営学部卒業研究倫理審査：23BA03が新規に承認

5) 研究倫理講習実施状況(資料4)：

<9月20日現在の修了データ>

全体 : 71% (51名 / 71名)

経営学部 : 71% (22名 / 31名)

リハビリテーション学部 : 95% (22名 / 23名)

大学院生	: 75% (3名 / 4名)
研究員	: 50% (3名 / 6名)
その他	: 14% (1名 / 7名)

## 6) その他

### ①アンケート調査、面接調査について

倫理申請時、実際に使用するアンケート調査用紙、インタビューガイドが添付されていないことがある。添付漏れがないよう学部会議で再度周知する。

### ②申請書について (資料5)

- ・「匿名化」を「個人が特定できない仕方」の表現に新年度改定時に修正する。
- ・登録公開に「介入研究以外は不要」の表現を新年度改定時に修正する。

### ③資料4にもとづき、e-APRINに登録されている受講者140名程度を見直し、退職した教職員などを抹消し、80名程度となったことが小野木委員より報告された。これにより、e-APRIN契約にかかる費用のうち、100名以上で課金される費用の削減になるとの説明がなされた。

次回開催予定：10月18日(水)17時00分からカンファレンスルームにて開催

\*審議事項がない場合はメール会議